

事業名：国語力向上モデル事業
 学校名：東広島市立西志和小学校
 所在地：東広島市志和町七条栞坂1670
 H P：http://www2.city.higashihiroshima.hiroshima.jp/~nishishiwa-sho/
 学校規模：10学級 208名

1 研究の概要

(1) 研究テーマ及び研究のねらい

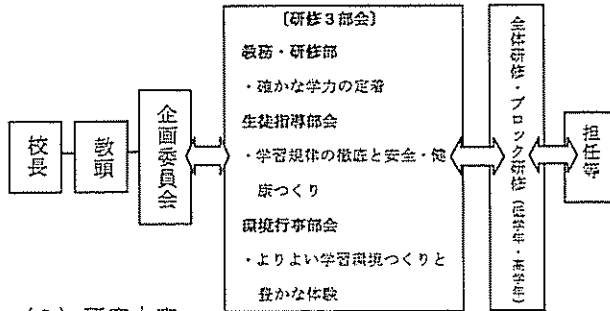
① 研究テーマ

「書くこと」が好きになる子どもの育成
 ～相手や目的に応じ筋道を立てて
 書く力を育てる～

② 研究のねらい

国語科の意識調査「書くことが好きですか」から、学年が進むにつれて、「書くこと」を苦手としている児童が多いという実態が明らかになった。そこで、国語科で「書くこと」の力を付けるだけでなく、「書くこと」が好きになる指導の在り方について研究を進めている。そのためには、国語科だけでなく、他教科等との関連を図り、相手意識・目的意識をもち、積極的に自分の思いや考えを書く力（伝えたいことが書ける力）を身に付けていくことをねらいとし、授業を工夫・改善していくことが必要と考える。

(2) 研究組織・体制



(3) 研究内容

国語科を中心として、全学年で実施する。

- ① 国語科における指導方法の工夫
- ② 国語科と他教科等との関連
 - ・国語科で身に付けた「書く力」を他教科等の教育活動の中で生かす指導の研究
- ③ 国語力を支える教育活動の充実
 - ・視写タイム
 - ・えんぴつタイム（俳句作り・短文作り等）
 - ・読書活動（読み聞かせ・親子読書等）

2 授業改善の視点

(1) 「つけたい力」の明確化

・「つけたい力」を明確にし、観点別評価規程には、活動内容における具体的な達成数値の目標を設定する。

(2) 個に応じた指導の工夫

- ・授業形態の工夫を図る。（習熟度別学習，課題別学習，T・T等）
- ・個に応じたワークシートの工夫やヒントカードを活用する。

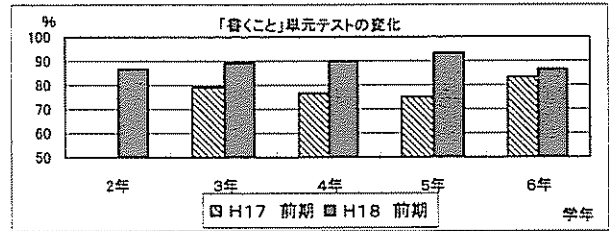
(3) 相手意識・目的意識を明確にした単元構成の工夫

・他教科等との関連を図り、相手意識・目的意識を明確にした単元構成を作成し提示する。また、学習のゴールが児童に分かるようにモデルを示す。

3 研究の成果と課題等

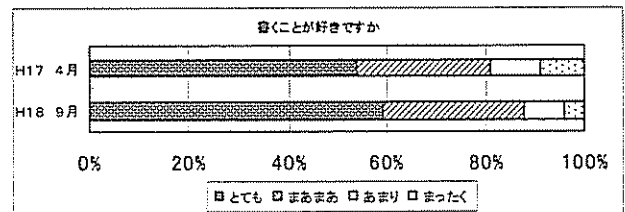
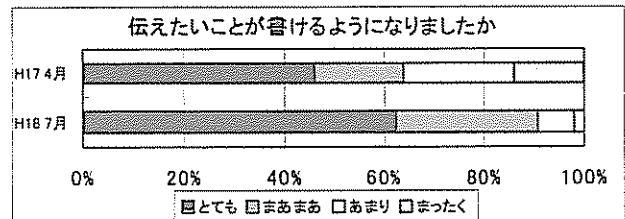
(1) 成果

① 「書く力」を身に付けることができた。



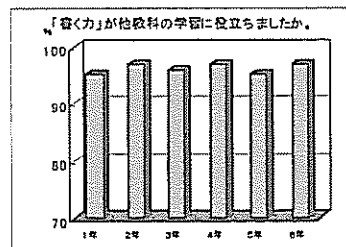
平成 17 年度前期に比べて平成 18 年度前期の単元テストの通過率が上がるとともに、全学年とも 80% を超えている。また、「書くこと」の指導を充実させることで、他領域「読むこと」の力の定着が図られている。

② 書くことの意欲を高めることができた。



国語科と他教科等とを関連させた単元構成を工夫することにより、相手意識・目的意識をもって書くことができるようになり、書くことの意識も高めることができた。

③ 「書く力」を活用することができた。



意識調査「国語科で付けた『書く力』が他教科の学習に役立ちましたか。」の結果である。全学年 95% 以上の児童が「役だった」と感じている。

(2) 課題

- ・国語科「書くこと」と「話すこと・聞くこと」「読むこと」を関連付けた指導の充実を図る。
- ・「書く力」に焦点をあて、他教科等との関連を明確にした年間指導計画を作成する。

(3) 今後の改善方策等

・国語科でつけた力を他教科等で一層活用する研究を進めていく。

4 実践事例

【事例①】総合的な学習と関連させ「書く力」を付ける

(1) 学年…4 学年 教科…国語科

(2) 単元の紹介

①単元 中心をはっきりさせて書こう
「関川環境活動報告書を作ろう(調査編)」

②単元の目標

○川的环境について取り組んでいる活動について報告することに興味をもち、取材したり、報告書を書いたりしようとする。

◎取材メモや組み立てメモをもとに、段落と段落の続き方に注意し、報告することの中心をはっきりさせて報告文を書く。

③単元の展開

第1次…学習計画を立てる。

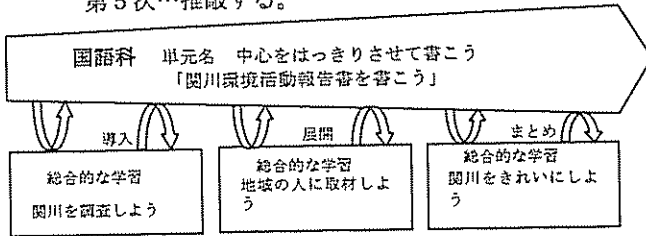
第2次…情報収集の計画を立て、取材活動を行う。

総合的な学習「関川をきれいにしよう」と関連

第3次…報告文の書き方を学ぶ。

第4次…組み立てメモを作り、報告文を書く。

第5次…推敲する。



(国語科と総合的な学習の関連構想図)

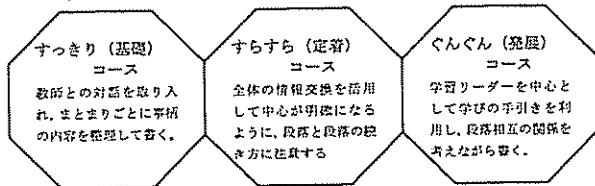
(3) 授業改善のポイント

①他教科等と関連させた単元構成の工夫

・総合的な学習「関川をきれいにしよう」と関連させ「地域の人に発信する」という相手意識・目的意識をもたせた。

②個に応じた指導方法の工夫

・習熟度別学習を取り入れ、個に応じた指導をした。習熟度別学習を行う際は、オリエンテーションを行い、事前に書いた社会見学作文や招待状を参考にし、コースを自己選択・自己決定した。



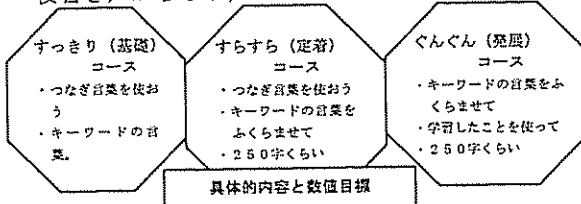
③「つきたい力」を明確にした評価の工夫

・児童に「つきたい力」を示した。

【第4次・報告書の本文2を書く時のめあて】

観点別評価規準…構成メモのキーワードを落とさず、段落相互・文相互の関係に応じて、接続詞を的確に用いて250字程度の本文を書く。

【報告書は4つの構成(前書き・本文1・本文2・後書き)からなり、全文800字程度で書く】



(4) 成果(○)と課題(●)

○2人の教師による習熟度別学習(3コース)を取り入れ、個に応じた細かな指導をすることで、全員が段落との段落の続き方に注意して、800字程度の報告書を書くことができた。

○総合的な学習の時間と関連した単元を設定したことで、児童の関心・意欲が高まった。また、総合的な学習の時間は、マイタウンティチャーの支援を受け、関川の調査活動を行ったため、取材活動が広がり報告書の内容が深まった。

●「書く力」を一層のばすために、情報を引き出す「話す・聞く力」を付けていく。

【事例②】国語科で付けた「書く力」を社会科で生かす

(1) 学年…4 学年 教科…社会科

(2) 単元の紹介

①単元 なくそうこわい火事

②単元の目標

○消防署や地域の消防施設、人々の働きなどを見学・調査し、人々の安全を守るための関係機関の働きとそこに従事している人々の工夫や努力を考えるとともに、各種の具体的資料を効果的に活用して調べたり、工夫して表現したりする力を育てる。

③単元の展開

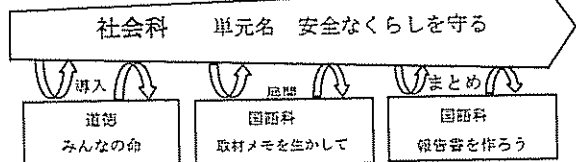
第1次…学習計画を立てる。

第2次…学校の中の防火や消火のための施設や設備を調べる。

第3次…消防署の見学を通して、火災に素早く対応するための消防署の設備の工夫、人々の働きについて調べ、話し合う。

第4次…地域の消防施設を調べ、地域における防火や消火の仕組みや人々の願いを話し合う。

第5次…「西志和の安全を守ろう報告書」を作る。



(社会科と国語科の関連構想図)

(3) 授業改善のポイント

①教材の工夫

・「火事から人々の安全を守るために人々の取り組みや願いを報告書にまとめ、全校児童に発信しよう。」という相手意識・目的意識をもたせた。

②国語科で身に付けた「書く力」を活用した指導方法の工夫

国語科で身につけた「書く力」	社会科における活用の場
報告メモの書き方【学習指導要領(イ)】	見学や聞き取りの取材
関川環境活動報告書【学習指導要領(エ)】	百志和安全報告書

(4) 成果(○)と課題(●)

○分かりやすく書いたメモや学習のまとめを根拠に話し合いを深めることができた。

○社会科において、国語科で身に付けた「書く力」を活用し、全体を見通して事柄の整理をし、構成を意識した報告書を書くことができた。また、意識調査では、92%の児童が社会科においても、伝えたいことを分かりやすく書くことができたと答えている。

●国語科で身に付けた「書く力」が社会科での学力向上につながるための研究をさらに進めていく。